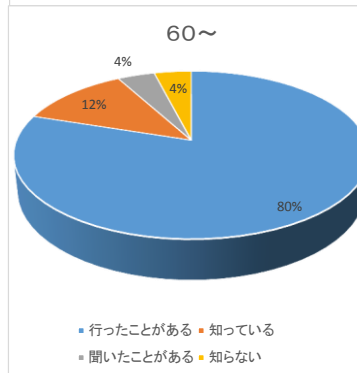
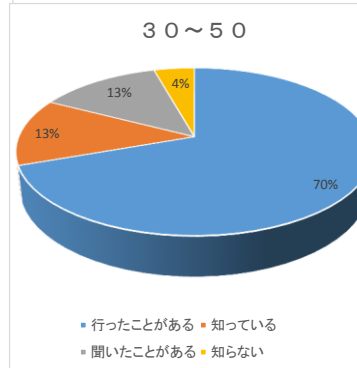
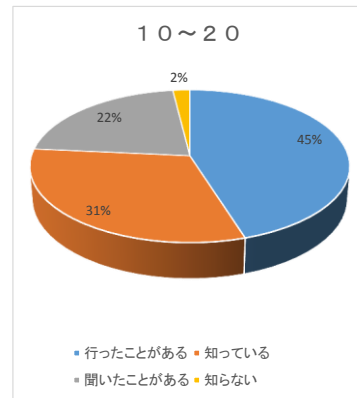


十日町についてのアンケート集計結果(年代別)

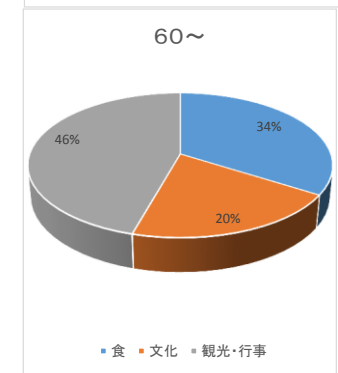
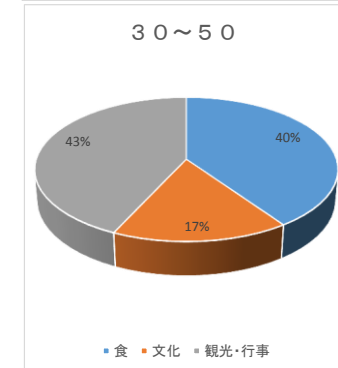
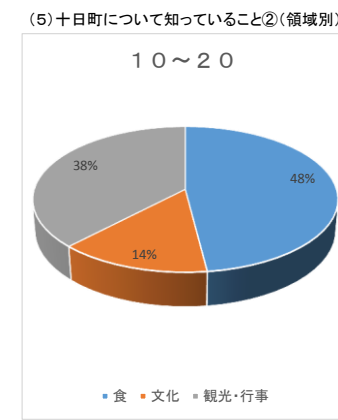
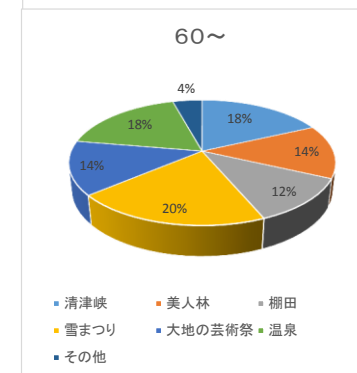
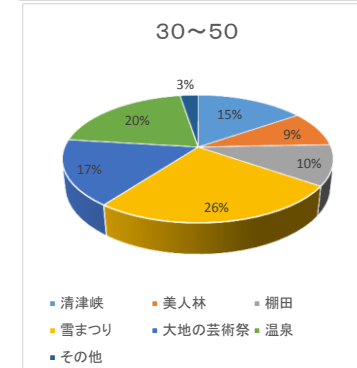
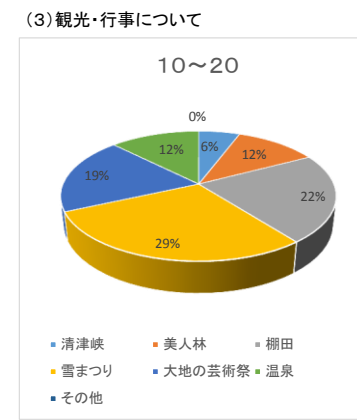
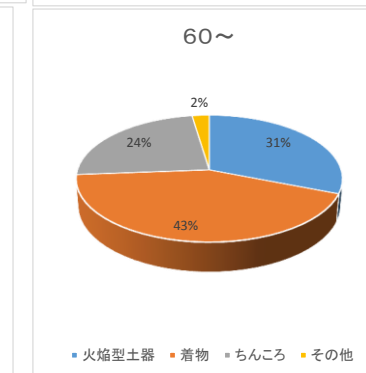
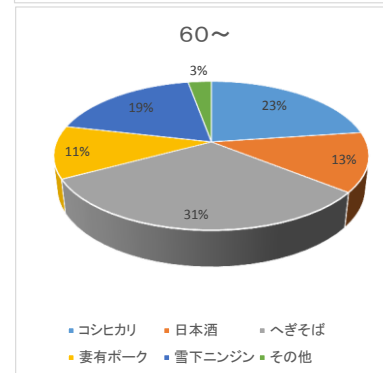
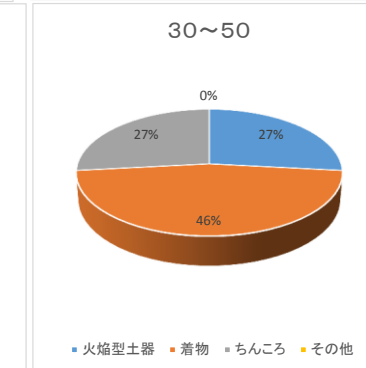
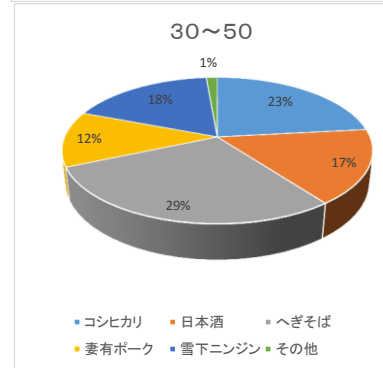
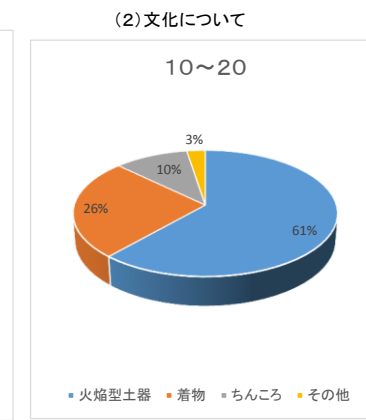
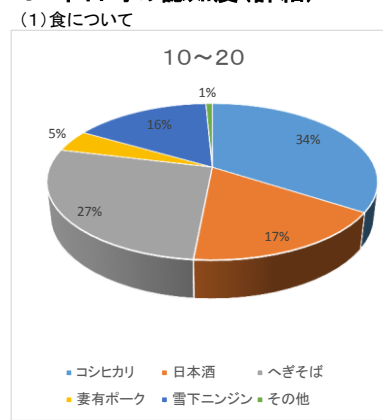
1 回収数

年代	人数
10~20	51
30~50	23
60~	25

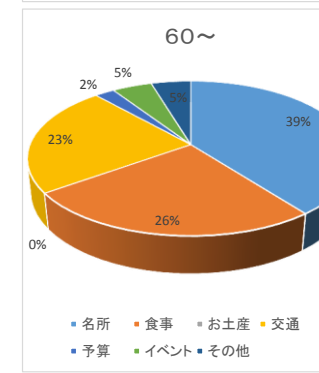
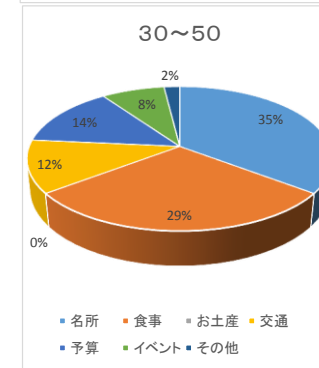
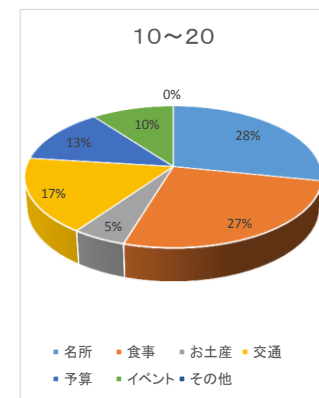
2 十日町の認知度(概略)



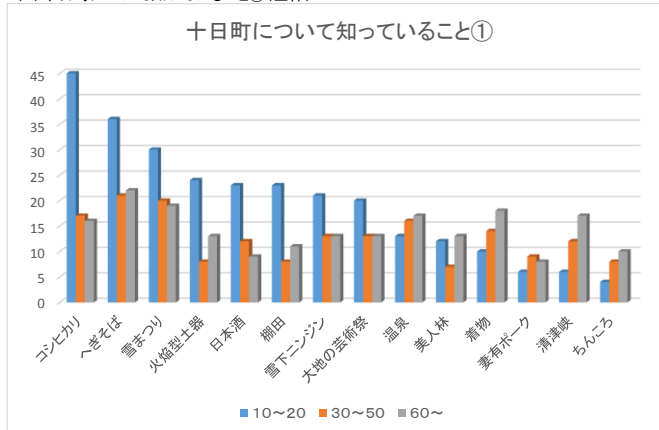
3 十日町の認知度(詳細)



4 旅行先を決める基準



(4)十日町について知っていること①(全体)



20日町の認知度(概略)

・明らかに年代が上がるごとに「行ったことがある」の回答が上昇する。
・10~20代の回答は新潟大学が多く、若者層だけで無く、県外から来た人の影響も考える必要がある。

(4)十日町について知っていること①(全体)

・若者層ではコシヒカリが多く回答され、他の項目は回答率が下がってきている。特に妻有ポーク、清津峡、ちんころは低い。この傾向は京都駅に近いとも考えられる。
・他の年代は多くの項目で比較的平均的に回答されており、ファミリー層・シニア層の方が十日町をよく知っているといえる。
・若者層のグラフが高く見えるのは回答数が他の年代の2倍程度あったためである。

30日町の認知度(詳細)

(1)食
・全体によく似ていていろいろな項目がバランスよく回答されている。
・若者層ではコシヒカリが多く回答されるが、年代が上昇するとへぎそばの回答が増える。
・京都駅に比べて全体にバランスがよく、県内では十日町の食がよく知られている。

(5)十日町について知っていること②(領域別)

・どの年代も食と観光・行事の回答が多く、文化に対する回答が少ない傾向がある。しかしこれは文化に関する設問数が少なかったことを反映していると考えられる。
・若者層では食に関する回答が1位であるが年代が上昇すると観光・行事が1位となっている。

(2)文化
・若者層では火焰型土器の回答が61%と1位であるが、ファミリー層・シニア層では着物が4割以上と傾向が変化している。

4旅行先を決める基準
・地区別に集計したときと同様に名所・食事・交通で選択理由の3/4程度を占める。その比率は年齢層が上がるほど上昇する傾向にある。

(3)観光・行事
・変化はあるものの各年代とも各項目がバランスよく回答されており、県内では十日町の観光・行事がよく知られていると思われる。

※留意事項
・京都駅でのアンケートは年代を答える設問がなかったため、この集計は新潟大学・新潟大学のデータを利用しています。従って県内の年代別の集計ということになります。